



2019 年度 SDGs 報告書

2019 SDGs Report

2020 年 6 月
株式会社テクノ中部

Sustainable Development Goals (SDGs)

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）のことで、2015年9月、国連サミットで採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標です。

この目標は、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

SDGsは、発展途上国のみならず先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、我が国も積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs への取組

SDGs は持続可能な社会を実現するための世界共通の課題・目標であり、この達成に貢献することが当社自らの持続的な成長に繋がると考えています。

本レポートは、当社の SDGs への取組みを紹介するものであり、本レポートを通じて、共に SDGs の達成に貢献する方々とのパートナーシップのきっかけになれば幸いです。

これまでの歩み

2018年9月～

- 環境技術センターにおいて SDGs の取組みスタート
- ・ 職場懇談会での学習会
 - ・ 職場内に SDGs 啓発ステッカー貼付

2019年3月 SDGs の全社展開について幹部会に提案

6月1日 SDGs の全社展開スタート

- ・ SDGs トップコミットメントの公表
- ・ SDGs ポータルサイトの開設

関連頁 P3

6月～8月 SDGs 社内説明会の実施

- ・ 本社（4回）、碧南事業所（1回）、浜岡事業所（1回）実施

7月～8月 2019年度 TCC × SDGs プロジェクト募集

- ・ 13のプロジェクトが参加を表明

関連頁 P5以降

8月1日 SDGs アンバサダー就任

関連頁 P4

2019年度 第1回 SDGs カンファレンス開催 9月30日

- ・ SDGs プロジェクトメンバーによる宣言

関連頁 P6

2019年度第2回カンファレンス延期 2020年3月3日

- ・ 新型コロナウイルスの感染防止のため

2019年度第2回カンファレンス中止 2020年5月13日

- ・ 新型コロナウイルスの感染防止のため

SDGs レポート発行 2020年6月

当社は、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

SDGsに賛同します

2015年9月の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダには、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成された2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」が掲げられています。SDGsは、政府や市民社会の他に、民間企業も達成に向けた役割が期待されており、あらゆるステークホルダーが連携することも求められ、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを表明しています。

当社は、環境 (Environment) に配慮した事業活動、社会・地域 (Social) への貢献や労働環境の改善、収益を上げつつ社会から信頼を得る経営 (Governance) などのESG要素を重視するとともに、社会の一員として、持続可能な世界の実現を目指すSDGsに賛同し、取り組みを進めていきます。

変わりゆく事業環境をチャンスへ変える

中部電力グループの一員として、電力は重要な経済インフラであることを自覚し、安全かつ安定的なサービスを提供するとともに、当社の中核事業であるエネルギーと環境にかかわる技術や役務のサービス提供を通じて、SDGsの達成に貢献することを基本的な考えとします。

国内の電力自由化をはじめ、世界のエネルギーをめぐる状況は、近年大きく変化しています。当社は、新しい事業領域に挑戦することで、従業員の働き甲斐や励みにも繋げ、社会課題の解決のほか、社会・地域と共生して、社会の発展に貢献する活動に取り組んでいきます。

従業員が個々の能力を最大限に発揮できる職場へ

当社の最大の経営資源は人財であり、風通しの良い明るく元気な職場を作るとともに、従業員が誇りを持って働ける職場作りを進めます。

当社は、安全な労働環境を大前提に、従業員の心身の健康維持・増進を目指した「健康経営」を推進し、全ての従業員に平等な機会を与えるとともに、人権が尊重されるようパワーハラスメントの防止に努めるなど、人格や個性、多様性を尊重する職場環境をめざしていきます。これにより、SDGsの達成に向けて個々の従業員が持てる能力を最大限に発揮していくことを期待します。



2019年6月1日

株式会社 テクノ中部

代表取締役社長 深澤 元喜

SDGs アンバサダー

SDGs の取組を更に推進してくため、17 のゴールに対応した 17 名のアンバサダー（親善大使）が担当する SDGs について、SDGs ポータルサイト等で情報発信し、社内の SDGs の取組みを活気づけています。



大田 文夫
取締役 火力事業本部長
ゴール1
貧困をなくそう



釜谷 広志
取締役 環境事業本部長
ゴール2
飢餓をゼロに



茶畑 秀人
総務部長
ゴール3
すべての人に健康と福祉を



西村 八寿喜
理事 環境統括部長
ゴール4
質の高い教育をみんなに



伊藤 泉美
営業部 営業グループ長
ゴール5
ジェンダー平等を実現しよう



池田 和彦
理事 営業部長
ゴール6
安全な水とトイレを世界中に



吉田 信之
取締役 原子力事業本部長
兼 安全・品質部長
ゴール7
エネルギーをみんなにそしてクリーンに



辻 聖二郎
経理部長
ゴール8
働きがいも経済成長も



氏原 和彦
環境事業本部 測定分析センター所長
ゴール9
産業と技術革新の基盤をつくろう



角野 直幸
原子力部長
ゴール10
人や国の不平等をなくそう



鈴木 俊彦
火力事業本部 燃料海事部長
ゴール11
住み続けられるまちづくりを



松井 俊郎
理事 火力事業本部 火力部長
ゴール12
つくる責任 つかう責任



高野 裕行
環境事業本部 環境技術センター所長
ゴール13
気候変動に具体的な対策を



吉成 仁志
環境事業本部 環境技術センター
コンサルティンググループ長
ゴール14
海の豊かさを守ろう



小島 敬
環境事業本部 環境技術センター
陸域調査グループ長
ゴール15
陸の豊かさを守ろう



紅村 良雄
取締役 企画部長
ゴール16
平和と公正をすべての人に



深澤 元喜
代表取締役 社長
ゴール17
パートナーシップで目標を達成しよう

第1回 SDGs カンファレンス

2019年9月30日、当社初となる「第1回 SDGs カンファレンス」は、当社のオリジナル企画であるとともに一般公開にて開催しました。社外からも3社7名の方に参加して頂きました。

カンファレンス前半は、事務総長を務める深澤 元喜社長による開会挨拶の後、全13プロジェクトの代表者によるプロジェクトの紹介、プロジェクト参加者による宣言の採択を行いました（P6参照）。

カンファレンス後半は、SDGsを活用して企業ブランディングに取り組んでいる株式会社マルワ 代表取締役社長 鳥原 久資 様、多様な人材活躍推進に取り組んでいる株式会社トーエネック 人事部いきいき人材活躍推進グループ グループ長 北村 利香 様よりご講演を賜りました。

また、講演後には、ワークショップによる意見交換、質疑応答を講師の方々を交えて行いました。ご講演頂いた講師の方々からは、「一体感のある職場に触れることができ、とても刺激的な時間でした」、「大変、活気のあるカンファレンスに参加させていただき学びの多い時間でした」との感想を頂き、SDGsへの理解を深めるとともに、参加者の一体感の醸成を図ることができました。

1. 開催日：2019年9月30日（月） 14：00～16：50
2. 場 所：株式会社テクノ中部 6階 講堂（名古屋市港区大江町3-12）
3. 内 容：
 - ・「TCC × SDGs」参加プロジェクトの取り組み紹介、宣言文採択
 - ・基調講演
 - ① 株式会社マルワ 代表取締役社長 鳥原 久資氏
 - ② 株式会社トーエネック 人事部いきいき人材活躍推進グループ
北村 利香グループ長
 - ・ワークショップ



2019 年度 TCC × SDGs

宣 言 書

私たちプロジェクト参加者一同は、
持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
世界をより良く変革しながら、当社も持続的に発展していく
決意を持ってここに宣言します。

1. 当社の中核事業であるエネルギーと環境にかかわる技術力の向上、安全と品質の確保、商品・サービス力を高め、お客様・地域・社会の信頼に応えます。
2. 既存の事業活動を通じた取組みに加え、環境・社会・経済の課題解決に貢献する新たな事業領域へ挑戦します。
3. 営業活動や広報活動並びに SDGs の事務局活動を通じて、社内外との相互理解・協力のためのパートナーシップを構築します。
4. 誰もが活躍できる明るく働きがいのある職場を目指し、全従業員あがりの取組みに発展させることを誓います。

全 17 ゴールのうち、以下の 12 のゴールを主軸に取り組みます。



2019 年 9 月 30 日
プロジェクト参加者一同



2019 年 9 月 30 日に開催した「第 1 回 SDGs カンファレンス」において、12 名のプロジェクト代表者が一堂に会し、それぞれの活動を紹介し、プロジェクト参加者による宣言文の採択を行い、当社の持続的発展を目指し活動を推進すること宣言しました。

2019年度 SDGs プロジェクト

No	プロジェクト名	概要
1	生物調査業務等への遺伝子判定技術の活用とその実用化	生物調査業務や養殖魚の病理判定等に従来法よりも高精度かつ簡便な遺伝子解析技術を導入する。
2	「SDGs 営業」で、取り組みの輪を広げパートナーシップで持続可能な開発目標の達成に貢献しよう！	お客様に当社が進めている SDGs の取り組みに関心を持っていただき、SDGs をきっかけに新規契約を獲得する。また、お客様とパートナーシップで新規ビジネスを始動させる。
3	2019年度 広報委員会	当社の目指す方向性や取り組み状況を丁寧に伝えるとともに、各部門の業務内容の相互理解を深め、当社の一員として一体感を醸成するため、全員参加型の広報活動を積極的に展開する。
4	土壌調査から汚染土壌処理まで一貫したサービスを提案しよう	お客様に土壌調査だけではなく、調査後の汚染土壌処理まで提案・実施できるスキームを創る。
5	安全・品質キャラバンの実施！	当社の中核事業であるエネルギーおよび環境事業において、社会およびお客さまから信頼され、事業継続を可能とすることをゴールとして、安全・品質基本方針の浸透に向けた安全・品質キャラバンの実施をする。
6	屋上ビオトープ管理運営	屋上ビオトープの管理、活用を行う。
7	浜岡原子力発電所前面海域の磯根資源を回復させ実り豊かな海を作ろう	浜岡原子力発電所前面海域で行っているカジメ藻場育成調査でカジメ藻場を拡大させて磯根資源の回復を目指す。
8	浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう！	浜岡原子力発電所の運転および廃止措置にて発生する放射性廃棄物について、「再利用の促進」、「廃棄物の適切な処分」により廃棄物の発生量ならびに保管量を削減する。
9	碧南事業所品質不適合無の継続により、お客さま信頼度のさらなる向上を図ろう	碧南事業所において、品質不適合無日数を延伸し、所員の持続的な安全意識の高揚を図るとともに、発注者からの更なる信頼獲得に努める。
10	情報システムの活用による業務効率化	モバイルパソコン、RPA 等を活用することにより業務効率化を行う。
11	「風の守人」として風力発電所の安定運転と保安の確保によるクリーンエネルギーの提供	保守管理の受託および出資者である「グリーンエナジーたはら (GET)」の風力発電の施設管理を通じて、クリーンエネルギー供給の一翼を担う。
12	2019年度 TCC × SDGs 事務局運営	2019年度の「TCC × SDGs」の運営を行い、2020年度の全社展開に向けた基盤の整備を行いつつ、社外に向けての情報発信を積極的に行っていく。
13	尾鷲三田火力発電所跡地における養殖事業 / 営農事業実施に向けた取り組み	第一次産業分野における当社新領域事業を「おわせ SEA モデル」協議会と協調しながら開拓し、事業の実現を目指す。

Project No.01

生物調査業務等への遺伝子判定技術の活用とその実用化

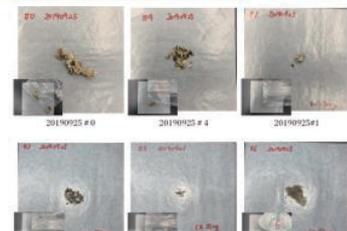


～ 生物調査業務や養殖魚の病理判定等に従来法よりも高精度かつ簡便な遺伝子解析技術の導入～

活動実績



イベントへの出展
・テクノフェア
・メッセ名古屋



第一号案件の受注・完工



17 パートナシップで目標を達成しよう



Project No.02

「SDGs 営業」で、取り組みの輪を広げパートナーシップで持続可能な開発目標の達成に貢献しよう!

～ お客様に当社のSDGsの取組みに関心を持っていただき、SDGsをきっかけとした新規契約の獲得 お客様とのパートナーシップによる新規ビジネスの始動～

2019メッセナゴヤに出展



活動実績

SDGs 持続可能な社会の実現にむけて SDGsリーフレット作成



生物多様性EXPO



SDGsノベルティグッズ

4 質の高い教育を
みんなに

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

Project No.03
2019 年 広報委員会

～T c c 便りの発行、発行にあたって記事の収集・選択、編集作業を通じた各部門の業務内容の相互理解の促進、全員参加型の広報活動の達成～

活動実績

**事務局による
編集作業**

**発行したT c c 便り
夏季号、秋季号、新年号の3刊**

Project No.04
土壌調査から土壌汚染対策まで一貫
したサービスを提案しよう

～お客様に土壌調査だけではなく、調査後の汚染土壌処理まで提案・実施できるスキームを創り、パートナー企業を模索～

3 すべての人に
健康と福祉を

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

活動実績

コンクリート削孔状況

土壌ガス採取状況

土壌コア

対策工設計のための調査

15 陸の豊かさも
守ろう

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



Project No.05

安全・品質キャラバンの実施

～安全・品質基本方針の浸透に向けた全事業所への安全・品質キャラバンの展開～

活動実績

安全・品質
キャラバンの実施



知多事業所



四日市事業所



尾鷲事業所



浜岡事業所



碧南事業所

Project No.06

屋上ビオトープ管理運営

4 質の高い教育を
みんなに



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう



～屋上ビオトープを社外コミュニケーションツールへ活用～

活動実績



中学校の職場訪問：屋上ビオトープや生物多様性、SDGsについての学習



高校生が育てたウシモツゴを放流



ウシモツゴ放流の様子は、電気新聞、中電G報「絆」にも掲載



リーフレットも刷新

プロジェクトメンバーはじめ大勢の方々の協力により、
中高生との環境取組みを実施



Project No.07

浜岡原子力発電所前面海域の磯根資源を回復
させ実り豊かな海を作ろう。

～カジメ・アワビの種苗生産と海域移植、食害防止網によるカジメ幼体の保護～

活動実績



Project No.08

浜岡原子力発電所で発生
する放射性廃棄物の削減
に取り組み、クリーンなエネルギーである
原子力発電の再稼働に貢献しよう！

～原子力発電所の運転および廃止措置にて発生する
放射性廃棄物の「再利用の促進」、「廃棄物の適切な
処理」により、廃棄物の発生量ならびに保管量を削減～

4 質の高い教育を みんなに 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 	11 住み続けられる まちづくりを
12 つくる責任 つかう責任 	13 気候変動に 具体的な対策を 	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう 	

活動実績

2019年9月より運用開始された
「1,2号機解体クリアランス処理業務」
にて、「SDGsフォークリフト」が活躍中!!

バーコードシステムPC
へのSDGs表示

アピール用
リーフレット作り



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



Project No.09

碧南事業所品質不適合無の継続によりお客さま信頼度のさらなる向上を図ろう

～目標を設定して、節目で所員が成功体験を得られる活動を行い、品質不適合無の継続を目指す～

活動実績

◆事業所内にプロジェクトを掲示

2019 TCC×SDGs 碧南事業所プロジェクト

PJN09 品質不適合無の継続により お客さまの信頼度のさらなる向上を図ろう

(代表：河野孝幸 メンバー 全事業所員)

- 短期目標……①品質不適合無500日達成 (2019.10.20)
 中期目標……②2019年品質不適合無達成 (2020.1.1)
 ③品質不適合無600日達成 (2020.1.28)
 ④2019年度品質不適合無達成 (2020.4.1)



2019年度 碧南事業所 業務重点実施計画

◆業務重点実施計画に 各課防止策を策定し取り組み

1. 安全健康・安全運行に向けた取組の推進【継続】

- (1) 安全衛生意識の徹底化
安全衛生委員の活性化により、職種が一律となって安全衛生活動の向上を図る。
・コミュニケーションの向上や体力増進など安全衛生を推進する活動とする。
- (2) 「各課の運転の基本への取組み」で設定した重点項目を継続実施し、HFDの防止を図る。
・総務課：「安全運行」取組の継続を図るため、二重チェックを実施する。
・船橋工場：「船橋工場での船舶代理店業務の相互チェックを徹底して実施した業務チェックを実施し、業務の標準化を図る」
・燃料課管理：「運転の基本」リストを策定し、HFD（故障発生）を防止する。
・燃料課管理：「運転の基本」遵守意識の醸成を図る。
・燃料課管理：運転の標準化を図るため、標準化の推進を図る。
・燃料課管理：「運転の基本」の指図、確認、呼称の有効性について、定期的な見直し（見直し）を行う。
・燃料課管理：「運転の基本」の指図、確認、呼称の有効性について、定期的な見直し（見直し）を行う。
・燃料課管理：「運転の基本」の指図、確認、呼称の有効性について、定期的な見直し（見直し）を行う。
・燃料課管理：「運転の基本」の指図、確認、呼称の有効性について、定期的な見直し（見直し）を行う。

2. 安全健康・安全運行に向けた取組の推進【継続】

- (1) 安全健康・安全運行に向けた取組の推進【継続】
- (2) 安全健康・安全運行に向けた取組の推進【継続】

3. 安全健康・安全運行に向けた取組の推進【継続】

- (1) 安全健康・安全運行に向けた取組の推進【継続】
- (2) 安全健康・安全運行に向けた取組の推進【継続】

◆安全品質パトロール（1回/週）



Project No.10

情報システムの活用による 業務効率化

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



15 陸の豊かさも
守ろう

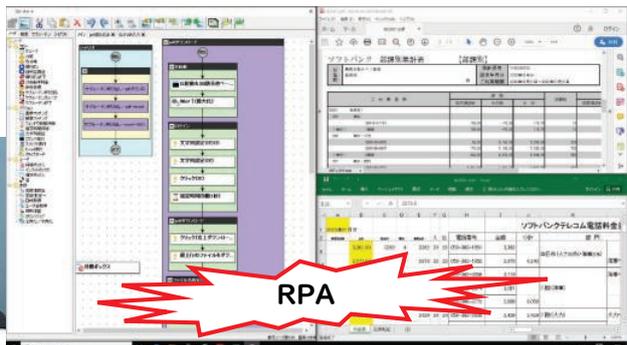


～モバイルパソコン、RPA等の活用により業務効率化を推進～

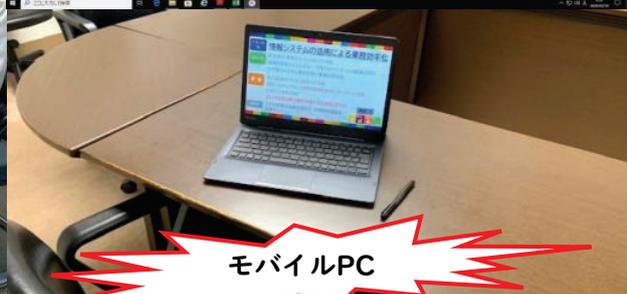
活動実績



ペーパーレス会議



RPA



モバイルPC

Project No.11

「風の守人」として風力発電所の安定運転と保安の確保によるクリーンエネルギーの提供



～田原リサイクルセンター風力発電所の安全管理審査対応、新規風力発電参画に向けた情報収集～

活動実績

田原リサイクルセンター
風力発電所と炭生館



安全管理審査受審状況
(1月17日)

啓発表示盤



プロジェクトNo.11, 12

4 質の高い教育をみんなに

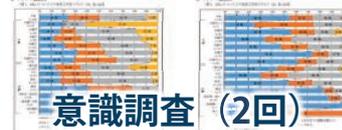
8 働きがいも経済成長も

17 パートナースhipで目標を達成しよう

Project No.12 2019年度 TCC × SDGs 事務局運営

～事務局運営を通じたSDGsの普及啓発、イベントの企画運営～

活動実績



Project No.13

尾鷲三田火力発電所跡地における 養殖事業 / 営農事業実施に向けた 取組み

～「おわせ SEA モデル」協議会と協調した第一次産業分野に
おける当社新領域の開拓及び事業化～



活動実績



最後に

第2回 SDGs カンファレンスは、新型コロナウイルスの感染拡大防止ため、当初予定していた2020年3月3日を5月14日に延期しましたが、国内でのまん延防止や安全確保の観点から中止としました。

しかし、これはSDGsの取組みをやめるものではありません。2020年度は、新しい生活様式に準拠した感染防止策を実践しながら、社内のSDGsプロジェクトの募集やカンファレンス開催のための準備をはじめています。

私たちは、SDGsへの取組み、持続的に発展するための歩みを止めません。

2020年6月 TCC × SDGs 事務局

株式会社テクノ中部
Techno Chubu Company, Ltd.
〒455-8512 愛知県名古屋市港区大江町 3-12

